

5. 趣味・スポーツ (p 920)

1) 趣味・スポーツの現状

趣味・スポーツの状況を表 28 に示す。

「十分にしている」は要支援 431 名中 29 名 (6.7%)、「ある程度している」は 115 名 (26.7%)、「ほとんどしていない」は 81 名 (18.8%)、「全くしていない」は 155 名 (36.0%)、「興味がない」は 43 名 (10.0%) であった。

これに対して要介護 1 の 806 名中「十分にしている」21 名 (2.6%)、「ある程度している」は 139 名 (17.3%)、「ほとんどしていない」は 159 名 (19.7%)、「全くしていない」は 361 名 (44.8%)、「興味がない」は 112 名 (13.9%) であった。

また、要介護 2 の 404 名中では、「十分にしている」5 名 (1.2%)、「ある程度している」は 42 名 (10.4%)、「ほとんどしていない」は 58 名 (14.4%)、「全くしていない」は 210 名

(52.0%)、「興味がない」は 73 名 (18.1%)、であった。

趣味・スポーツの実行者、すなわち、「十分にしている」と「ある程度している」の合計を要介護度別にみると、要支援 144 名 (33.4%)、要介護度 1 160 名 (19.9%)、要介護度 2 47 名 (11.6%)と、要介護度との関連性が著明であった。この中で「十分にしている」にしている者は少なく、これだけをみると同じく 6.7%、2.6%、1.2%にすぎない。

2) 趣味・スポーツをしなくなった理由

「しなくなった理由」を表 29 に示す。

「返答なし」が 7 割前後と非常に多いが、これには仕事の場合と同様に、現在も趣味・スポーツに参加しているため、逆に以前からしなかったため、等の種々の理由が混在しているものと考えられる。

表 28 趣味・スポーツ-要介護度・男女別-

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
十分にしている	4名 4.8%	25名 7.2%	29名 6.7%	8名 4.2%	13名 2.1%	21名 2.6%	1名 0.9%	4名 1.4%	5名 1.2%	55名 3.4%
ある程度している	28 33.3%	87 25.1%	115 26.7%	31 16.1%	108 17.6%	139 17.3%	9 8.0%	33 11.3%	42 10.4%	296 18.0%
ほとんどしていない	20 23.8%	61 17.6%	81 18.8%	43 22.4%	116 18.9%	159 19.7%	13 11.5%	45 15.5%	58 14.4%	298 18.2%
全くしていない	26 31.0%	129 37.2%	155 36.0%	85 44.3%	276 45.0%	361 44.8%	65 57.5%	145 49.8%	210 52.0%	726 44.2%
興味がない	3 3.6%	40 11.5%	43 10.0%	23 12.0%	89 14.5%	112 13.9%	20 17.7%	53 18.2%	73 18.1%	228 13.9%
複数回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
返答なし	3 3.6%	5 1.4%	8 1.9%	2 1.0%	12 2.0%	14 1.7%	5 4.4%	11 3.8%	16 4.0%	38 2.3%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

残りの回答についてみると、「趣味の会などがなくなった」は要支援431名中3名(0.7%)、「通うのが難しくなった」は26名(6.0%)、「趣味やスポーツの動作が難しい」は34名(7.9%)、「その他」は32名(7.4%)であった。

これに対して要介護1の806名中「趣味の会などがなくなった」6名(0.8%)、「通うのが難しくなった」は50名(6.2%)、「趣味やスポーツの動作が難しい」は76名(9.4%)、「その他」は77名(9.6%)であった。

また、要介護2の404名中では、「趣味の会などがなくなった」1名(0.3%)、「通うのが難しくなった」は25名(6.2%)、「趣味やスポーツの動作が難しい」は50名(12.4%)、「その他」は41名(10.2%)であった。

このうち最も多いのは「趣味やスポーツの動作が難しい」で総計で9.8%であり、要介護度が高くなるほど多くなっている(7.9%、9.4%、12.4%)。次に多いのが「通うのが難しくなった」の総計6.2%(要介護度による

差なし)であり、いずれも「活動」が困難になったことで「参加」が低下したことがみとれる。

6. 町内会・団体・地域活動など (p910)

1) 町内会・団体・地域活動などの現状

調査時点での町内会・団体・地域活動などへの「参加」の状況を表30に示す。

「十分に参加している」は要支援431名中12名(2.8%)、「ある程度参加している」は73名(16.9%)、「ほとんど参加していない」は118名(27.4%)、「全く参加していない」は192名(44.5%)、「興味がない」は32名(7.4%)であった。

これに対して要介護1の806名中「十分に参加している」6名(0.8%)、「ある程度参加している」は82名(10.2%)、「ほとんど参加していない」は128名(15.9%)、「全く参加していない」は498名(61.8%)、「興味がない」は77名(9.6%)であった。

表29 趣味・スポーツをしなくなった理由－要介護度・男女別－

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
趣味の会などがなくなった	1名 1.2%	2名 0.6%	3名 0.7%	1名 0.5%	5名 0.8%	6名 0.8%	1名 0.9%	0名 0.0%	1名 0.3%	10名 0.6%
通うのが難しくなった	2 2.4%	24 6.9%	26 6.0%	12 6.3%	38 6.2%	50 6.2%	11 9.7%	14 4.8%	25 6.2%	101 6.2%
趣味やスポーツの動作が難しい	10 11.9%	24 6.9%	34 7.9%	23 12.0%	53 8.6%	76 9.4%	14 12.4%	36 12.4%	50 12.4%	160 9.8%
その他	6 7.1%	26 7.5%	32 7.4%	24 12.5%	53 8.6%	77 9.6%	12 10.6%	29 10.0%	41 10.2%	150 9.1%
複数回答	1 1.2%	7 2.0%	8 1.9%	2 1.0%	13 2.1%	15 1.9%	3 2.7%	8 2.7%	11 2.7%	34 2.1%
返答なし	64 76.2%	264 76.1%	328 76.1%	130 67.7%	452 73.6%	582 72.2%	72 63.7%	204 70.1%	276 68.3%	1186 72.3%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

また、要介護2の404名中では、「十分に参加している」1名(0.3%)、「ある程度参加している」は16名(4.0%)、「ほとんど参加していない」は34名(8.4%)、「全く参加していない」は281名(69.6%)、「興味がない」は57名(14.1%)であった。

町内会・団体・地域活動などの状況を、「十分に参加している」と「ある程度参加している」の合計で要介護度別にみると、要支援85名(19.7%)、要介護1 88名(10.9%)、要介護2 17名(4.2%)で、要介護度との関連が明らかであった。

ただ「十分に参加している」だけをみると一般的に非常に僅か(総計1.2%)であった。

2) 町内会・団体・地域活動に参加しなくなった理由

町内会・団体・地域活動などに参加しなく

なった理由を表31に示す。

ここでも「返答なし」が約3分の2と非常に多く、その理由も前に述べたように多様であると考えられる。

残りの回答についてみると、「団体そのものがなくなった」は要支援中 431名中 8名(1.9%)、「団体での役割がなくなった」は26名(6.0%)、「通うのが難しくなった」は46名(10.7%)、「内容的に難しくなった」は18名(4.2%)、「その他」は41名(9.5%)であった。

これに対して要介護1の806名中「団体そのものがなくなった」12名(1.5%)、「団体での役割がなくなった」は19名(2.4%)、「通うのが難しくなった」は99名(12.3%)、「内容的に難しくなった」は40名(5.0%)、「その他」は59名(7.3%)であった。

表30 町内会・団体・地域活動などの状況—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
十分に参加している	2名 2.4%	10名 2.9%	12名 2.8%	1名 0.5%	5名 0.8%	6名 0.8%	0名 0.0%	1名 0.3%	1名 0.3%	19名 1.2%
ある程度参加している	16 19.0%	57 16.4%	73 16.9%	13 6.8%	69 11.2%	82 10.2%	7 6.2%	9 3.1%	16 4.0%	171 10.4%
ほとんど参加していない	27 32.1%	91 26.2%	118 27.4%	30 15.6%	98 16.0%	128 15.9%	7 6.2%	27 9.3%	34 8.4%	280 17.1%
全く参加していない	34 40.5%	158 45.5%	192 44.6%	124 64.6%	374 60.9%	498 61.8%	81 71.7%	200 68.7%	281 69.6%	971 59.2%
興味がない	3 3.6%	29 8.4%	32 7.4%	20 10.4%	57 9.3%	77 9.6%	14 12.4%	43 14.8%	57 14.1%	166 10.1%
複数回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
返答なし	2 2.4%	2 0.6%	4 0.9%	4 2.1%	11 1.8%	15 1.9%	4 3.5%	11 3.8%	15 3.7%	34 2.1%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

また、要介護2の404名中では、「団体そのものがなくなった」2名(0.5%)、「団体での役割がなくなった」は9名(2.2%)、「通うのが難しくなった」は48名(11.9%)、「内容的に難しくなった」は33名(8.2%)、「その他」は33名(8.2%)であった。

ここで最も多い理由は「通うのが難しくなった」(総計11.8%)、次が「内容的に難しくなった」(総計5.5%)という「活動」の困難についてのものであり、「団体そのものがなくなった」「団体での役割がなくなった」などの「参加」そのもの(と環境因子)の変化(合計で総計4.6%)よりもはるかに多かった。

IV. 「心身機能」の状況

1. 体の痛み

体のどこかに痛み(b280)があるかについての状況を表32に示す。

「なし」は要支援431名中92名(21.4%)、「ある」は335名(77.7%)であった。

これに対して要介護1の806名中「なし」210名(26.1%)、「あり」は588名(73.0%)であった。

また、要介護2の404名中では、「なし」126名(31.2%)、「あり」は268名(66.3%)であった。

要介護度による差はほとんど認められないといつてよい。

2. 心や体の働きの不自由なところ (b110-b780)

体や心の働きの不自由なところの状況を表33、34に示す。

表33にみるように複数回答が約半数あるので、以下表34の項目別集計(合計は100%以上)について述べる。

表31 町内会・団体・地域活動に参加しなくなった理由—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
団体そのものがなくなった	0名 0.0%	8名 2.3%	8名 1.9%	2名 1.0%	10名 1.6%	12名 1.5%	1名 0.9%	1名 0.3%	2名 0.5%	22名 1.3%
団体での役割がなくなった	12 14.3%	14 4.0%	26 6.0%	6 3.1%	13 2.1%	19 2.4%	3 2.7%	6 2.1%	9 2.2%	54 3.3%
通うのが難しくなった	6 7.1%	40 11.5%	46 10.7%	20 10.4%	79 12.9%	99 12.3%	14 12.4%	34 11.7%	48 11.9%	193 11.8%
内容的に難しくなった	2 2.4%	16 4.6%	18 4.2%	6 3.1%	34 5.5%	40 5.0%	10 8.8%	23 7.9%	33 8.2%	91 5.5%
その他	8 9.5%	33 9.5%	41 9.5%	20 10.4%	39 6.4%	59 7.3%	11 9.7%	22 7.6%	33 8.2%	133 8.1%
複数回答	4 4.8%	10 2.9%	14 3.3%	8 4.2%	24 3.9%	32 4.0%	7 6.2%	10 3.4%	17 4.2%	63 3.8%
返答なし	52 61.9%	226 65.1%	278 64.5%	130 67.7%	415 67.6%	545 67.6%	67 59.3%	195 67.0%	262 64.9%	1085 66.1%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

総計 1641 名の中で、返答なし 248 名を除く 1393 名 (84.9%) が何らかの不自由をもっていた。

多い順にみると、「手足の動き」は 887 名 (54.1%)、「音を聞くこと」は 704 名 (42.9%)、「ものを見ること」は 393 名 (23.9%)、「認

知症 (ぼけ、痴呆)」は 308 名 (18.8%)、「失禁」は 178 名 (10.8%)、「声を出して話すこと」は 136 名 (8.3%) であった。

要介護度による差は「認知症」「失禁」が要介護度とほぼ並行的に増えるが、その他では明瞭でなかった。

表 32 体の痛み—要介護度・男女別—

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
なし	27 名 32.1%	65 名 18.7%	92 名 21.4%	67 名 34.9%	143 名 23.2%	210 名 26.1%	42 名 37.2%	84 名 28.9%	126 名 31.2%	428 名 26.1%
ある	55 65.5%	280 80.7%	335 77.7%	122 63.5%	466 75.9%	588 73.0%	69 61.1%	199 68.4%	268 66.3%	1191 72.6%
返答なし	2 2.4%	2 0.6%	4 1.0%	3 1.6%	5 0.8%	8 1.0%	2 1.8%	8 2.7%	10 2.5%	22 1.3%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 33 体や心の働きの不自由なところ—要介護度・男女別—

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
手足の動き	11 名 13.1%	62 名 17.9%	73 名 16.9%	34 名 17.7%	99 名 16.1%	133 名 16.5%	17 名 15.0%	43 名 14.8%	60 名 14.9%	266 名 16.2%
音を聞くこと	15 17.9%	45 13.0%	60 13.9%	25 13.0%	48 7.8%	73 9.1%	3 2.7%	12 4.1%	15 3.7%	148 9.0%
認知症 (ぼけ、痴呆)	2 2.4%	10 2.9%	12 2.8%	8 4.2%	28 4.6%	36 4.5%	4 3.5%	23 7.9%	27 6.7%	75 4.6%
ものを見ること	3 3.6%	22 6.3%	25 5.8%	2 1.0%	25 4.1%	27 3.4%	4 3.5%	6 2.1%	10 2.5%	62 3.8%
失禁	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	1 0.5%	3 0.5%	4 0.5%	1 0.9%	1 0.3%	2 0.5%	7 0.4%
声を出して話す こと	2 2.4%	1 0.3%	3 0.7%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.1%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.3%	5 0.3%
意識障害	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 1.2%	5 1.4%	6 1.4%	2 1.0%	4 0.7%	6 0.8%	0 0.0%	4 1.4%	4 1.0%	16 1.0%
複数回答	37 44.0%	122 35.2%	159 36.9%	90 46.9%	315 51.3%	405 50.3%	73 64.6%	177 60.8%	250 61.9%	814 49.6%
返答なし	13 15.5%	79 22.8%	92 21.4%	29 15.1%	92 15.0%	121 15.0%	10 8.8%	25 8.6%	35 8.7%	248 15.1%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

3. 歩行困難

(10.3%)、「あり」は718名(89.1%)であった。

1) 歩行困難の状況

歩く(b760、b770)のに難しさを感じるかについてを表35に示す。

た。

要介護2では「なし」は404名中44名(10.9%)、「あり」は355名(87.9%)であった。

総計で「なし」は1641名中197名(12.0%)、「あり」は1431名(87.2%)であり、要支援で「なし」としたのは431名中70名(16.2%)、「あり」は358名(83.1%)であった。

た。

全体でみると9割近くが歩行困難を感じており、それが要介護度とほとんど関係がないことが注目される。

要介護1では「なし」は806名中83名

表34 体や心の働きの不自由なところ—要介護度・男女別—(項目別)

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
手足の動き	39名 46.4%	149名 42.9%	188名 43.6%	105名 54.7%	356名 58.0%	461名 57.2%	71名 62.8%	167名 57.4%	238名 58.9%	887名 54.1%
音を聞くこと	41 48.8%	127 36.6%	168 39.0%	84 43.8%	271 44.1%	355 44.0%	56 49.6%	125 43.0%	181 44.8%	704 42.9%
ものを見ること	19 22.6%	91 26.2%	110 25.5%	30 15.6%	166 27.0%	196 24.3%	26 23.0%	61 21.0%	87 21.5%	393 23.9%
認知症 (ぼけ、痴呆)	8 9.5%	24 6.9%	32 7.4%	35 18.2%	97 15.8%	132 16.4%	36 31.9%	108 37.1%	144 35.6%	308 18.8%
失禁	8 9.5%	15 4.3%	23 5.3%	20 10.4%	46 7.5%	66 8.2%	26 23.0%	63 21.6%	89 22.0%	178 10.8%
声を出して話すこと	6 7.1%	18 5.2%	24 5.6%	22 11.5%	37 6.0%	59 7.3%	25 22.1%	28 9.6%	53 13.1%	136 8.3%
意識障害	1 1.2%	3 0.9%	4 0.9%	4 2.1%	8 1.3%	12 1.5%	1 0.9%	5 1.7%	6 1.5%	22 1.3%
その他	3 3.6%	9 2.6%	12 2.8%	5 2.6%	22 3.6%	27 3.3%	5 4.4%	11 3.8%	16 4.0%	55 3.4%
計	125 148.8%	436 125.6%	561 130.2%	305 158.9%	1003 163.4%	1308 162.3%	246 217.7%	568 195.2%	814 201.5%	2683 163.5%

表35 歩くことの難しさの現状

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
なし	15名 17.9%	55名 15.9%	70名 16.2%	23名 12.0%	60名 9.8%	83名 10.3%	5名 4.4%	39名 13.4%	44名 10.9%	197名 12.0%
あり	69 82.1%	289 83.3%	358 83.1%	169 88.0%	549 89.4%	718 89.1%	108 95.6%	247 84.9%	355 87.9%	1431 87.2%
返答なし	0 0.0%	3 0.9%	3 0.7%	0 0.0%	5 0.8%	5 0.6%	0 0.0%	5 1.7%	5 1.2%	13 0.8%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

2) 歩行困難の理由

歩くのが難しい理由を表 36 に示す。

ここでも返答なしが全体で約 14%あるが、これは前問での「歩くのに難しさを感じますか？」に「なし」と答えたものの総計 12.0%と近い数字であり、大部分が歩行困難がないための無回答とみてよいであろう。

複数回答が約 3 分の 2 と多いため、以下表 37 の項目別集計(計 100%以上)でみていく。

総計でみて最も多いのは「足の力がおちた」が 929 名(56.6%)で、次いで「つまづき易い」

が 646 名(39.4%)、「疲れやすい」は 559 名(34.1%)、「歩く速さが遅い」が 542 名(33.0%)、「ふらつく」が 522 名(31.8%)、「足の関節の痛み」が 514 名(31.3%)、「腰痛」が 499 名(30.4%)等であった。興味あることに「目が見えにくい」206 名(12.6%)、「耳が聞こえにくい」201 名(12.2%)と、感覚の障害によって歩くのが難しくなった人が少なからずみられた。

要介護度による差は一部にはみられたが、一定の傾向は認め難かった。

表 36 歩くのが難しい理由(回答者別)

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
足の力がおちた	8 9.5%	16 4.6%	24 5.6%	18 9.4%	39 6.4%	57 7.1%	10 8.8%	19 6.5%	29 7.2%	110 6.7%
足の関節の痛み	1 1.2%	11 3.2%	12 2.8%	5 2.6%	17 2.8%	22 2.7%	3 2.7%	5 1.7%	8 2.0%	42 2.6%
腰痛	2 2.4%	11 3.2%	13 3.0%	4 2.1%	14 2.3%	18 2.2%	0 0.0%	5 1.7%	5 1.2%	36 2.2%
疲れやすい	2名 2.4%	5名 1.4%	7名 1.6%	1名 0.5%	12名 2.0%	13名 1.6%	2名 1.8%	3名 1.0%	5名 1.2%	25名 1.5%
目が見えにくい	2 2.4%	9 2.6%	11 2.6%	0 0.0%	6 1.0%	6 0.7%	1 0.9%	2 0.7%	3 0.7%	20 1.2%
ふらつく	0 0.0%	7 2.0%	7 1.6%	2 1.0%	4 0.7%	6 0.7%	3 2.7%	2 0.7%	5 1.2%	18 1.1%
つまづき易い	0 0.0%	4 1.2%	4 0.9%	1 0.5%	6 1.0%	7 0.9%	3 2.7%	3 1.0%	6 1.5%	17 1.0%
歩く速さが遅い	0 0.0%	2 0.6%	2 0.5%	2 1.0%	5 0.8%	7 0.9%	0 0.0%	2 0.7%	2 0.5%	11 0.7%
耳が聞こえにくい	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
その他	2 2.4%	10 2.9%	12 2.8%	11 5.7%	11 1.8%	22 2.7%	3 2.7%	10 3.4%	13 3.2%	47 2.9%
複数回答	51 60.7%	214 61.7%	265 61.5%	123 64.1%	427 69.5%	550 68.2%	83 73.5%	192 66.0%	275 68.1%	1090 66.4%
返答なし	16 19.0%	58 16.7%	74 17.2%	24 12.5%	73 11.9%	97 12.0%	5 4.4%	48 16.5%	53 13.1%	224 13.7%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

V. 「健康状態」の状況

「健康状態」とはICFの概念で疾患・外傷だけでなく、高齢・妊娠・ストレス状態などを含む、生活機能に影響を及ぼしうる広い範囲のものを含む。これと関係深い入院・通院の状況も併せて調査した。

1. 通院

1) 通院の状況

病院・医院への通院状況を表38に示す。

「いいえ」(通院していない)は要支援431名中29名(6.7%)、「はい」は397名(92.1%)であった。

これに対して要介護1の806名中「いいえ」54名(6.7%)、「はい」は740名(91.8%)であった。

また、要介護2の404名中では、「いいえ」29名(7.2%)、「はい」は366名(90.6%)であった。

このように回答者の中では通院しているものが9割以上であり、要介護度による差はみられなかった。

表37 歩くのが難しい理由(項目別)

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
足の力が落ちた	44 52.4%	167 48.1%	211 49.0%	114 59.4%	360 58.6%	474 58.8%	72 63.7%	172 59.1%	244 60.4%	929 56.6%
つまづき易い	27 32.1%	116 33.4%	143 33.2%	74 38.5%	256 41.7%	330 40.9%	52 46.0%	121 41.6%	173 42.8%	646 39.4%
疲れやすい	27名 32.1%	120名 34.6%	147名 34.1%	60名 31.3%	217名 35.3%	277名 34.4%	38名 33.6%	97名 33.3%	135名 33.4%	559名 34.1%
歩く速さが遅い	25 29.8%	109 31.4%	134 31.1%	58 30.2%	220 35.8%	278 34.5%	36 31.9%	94 32.3%	130 32.2%	542 33.0%
ふらつく	22 26.2%	92 26.5%	114 26.5%	62 32.3%	204 33.2%	266 33.0%	42 37.2%	100 34.4%	142 35.1%	522 31.8%
足の関節の痛み	21 25.0%	108 31.1%	129 29.9%	45 23.4%	222 36.2%	267 33.1%	30 26.5%	88 30.2%	118 29.2%	514 31.3%
腰痛	23 27.4%	128 36.9%	151 35.0%	45 23.4%	201 32.7%	246 30.5%	23 20.4%	79 27.2%	102 25.2%	499 30.4%
目が見えにくい	9 10.7%	45 13.0%	54 12.5%	16 8.3%	97 15.8%	113 14.0%	11 9.7%	28 9.6%	39 9.7%	206 12.6%
耳が聞こえにくい	10 11.9%	43 12.4%	53 12.3%	23 12.0%	82 13.4%	105 13.0%	20 17.7%	23 7.9%	43 10.6%	201 12.2%
その他	8 9.5%	30 8.6%	38 8.8%	28 14.6%	48 7.8%	76 9.4%	15 13.3%	32 11.1%	47 11.6%	161 9.8%
計	216 257.1%	958 276.1%	1174 272.4%	525 273.4%	1907 310.6%	2432 301.7%	339 300.0%	834 286.6%	1173 290.3%	4779 291.2%

2) 病名

病名を表 39 に示す。

複数回答が多い（全体に 26%）ため、以下表 40 の項目別集計（合計は 100%以上）について述べる。

総計 1641 名のうちで最も多いのは「高血圧」554 名（33.8%）であり、次いで「狭心症」167 名（10.2%）、「不整脈」103 名（6.3%）であった。以上は直接「活動」の低下をきたすものではない。

直接「活動」の質的低下を起こしうる「パーキンソン病」「関節リウマチ」は共に 47 名（2.9%）、「肺気腫」31 名（1.9%）と比較的少なかった。その他に気管支喘息のように変動性のあるものが 71 名（4.3%）あった。

このように疾患をもっている人は多いが、直接「活動」の「質」を低下させるようなものは比較的少なかった。

また要介護度による差は著明ではなかった。

「週 1 回」は要支援 431 名中 66 名（15.3%）、「2 週に 1 回」は 141 名（32.7%）、「月 1 回」は 154 名（35.7%）、「ほとんどなし」は 11 名（2.6%）で、「週 2 回以上」は 5 名（1.2%）であった。

これに対して要介護 1 の 806 名中「週 1 回」123 名（15.3%）、「2 週に 1 回」は 264 名（32.8%）、「月 1 回」は 273 名（33.9%）、「ほとんどなし」は 24 名（3.0%）、「週 2 回以上」は 14 名（1.7%）であった。

また、要介護 2 の 404 名中では、「週 1 回」43 名（10.7%）、「2 週に 1 回」は 92 名（22.8%）、「月 1 回」は 174 名（43.1%）、「ほとんどなし」は 23 名（5.7%）、「週 2 回以上」は 6 名（1.5%）であった。

全体として「月 1 回」と「週に 1 回」が多く、要介護度による差は著明ではなかった。

3) 通院頻度

通院頻度を表 41 に示す。

表 38 病院・医院への通院状況—要介護度・男女別—

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
いいえ	6名 7.1%	23名 6.6%	29名 6.7%	12名 6.3%	42名 6.8%	54名 6.7%	3名 2.7%	26名 8.9%	29名 7.2%	112名 6.8%
はい	77 91.7%	320 92.2%	397 92.1%	177 92.2%	563 91.7%	740 91.8%	110 97.3%	256 88.0%	366 90.6%	1503 91.6%
返答なし	1 1.2%	4 1.2%	5 1.2%	3 1.6%	9 1.5%	12 1.5%	0 0.0%	9 3.1%	9 2.2%	26 1.6%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 39 病名－要介護度・男女別－（回答者別）

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
高血圧	15名 17.9%	59名 17.0%	74名 17.2%	36名 18.8%	84名 13.7%	120名 14.9%	11名 9.7%	37名 12.7%	48名 11.9%	242名 14.7%
狭心症	4 4.8%	12 3.5%	16 3.7%	4 2.1%	17 2.8%	21 2.6%	2 1.8%	2 0.7%	4 1.0%	41 2.5%
パーキンソン病	0 0.0%	2 0.6%	2 0.5%	3 1.6%	12 2.0%	15 1.9%	2 1.8%	9 3.1%	11 2.7%	28 1.7%
気管支喘息	0 0.0%	9 2.6%	9 2.1%	2 1.0%	10 1.6%	12 1.5%	1 0.9%	4 1.4%	5 1.2%	26 1.6%
関節リウマチ	2 2.4%	3 0.9%	5 1.2%	0 0.0%	9 1.5%	9 1.1%	1 0.9%	5 1.7%	6 1.5%	20 1.2%
不整脈	0 0.0%	6 1.7%	6 1.4%	2 1.0%	10 1.6%	12 1.5%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.3%	19 1.2%
肺気腫	1 1.2%	0 0.0%	1 0.2%	2 1.0%	3 0.5%	5 0.6%	4 3.5%	1 0.3%	5 1.2%	11 0.7%
痛風	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	1 0.5%	2 0.3%	3 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.2%
その他	19 22.6%	106 30.5%	125 29.0%	61 31.8%	198 32.2%	259 32.1%	49 43.4%	94 32.3%	143 35.4%	527 32.1%
複数回答	27 32.1%	90 25.9%	117 27.2%	47 24.5%	171 27.9%	218 27.1%	32 28.3%	63 21.6%	95 23.5%	430 26.2%
返答なし	16 19.0%	59 17.0%	75 17.4%	34 17.7%	98 16.0%	132 16.4%	10 8.8%	76 26.1%	86 21.3%	293 17.9%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 40 病名－要介護度・男女別－（項目別）

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
高血圧	25名 29.8%	122名 35.2%	147名 34.1%	70名 36.5%	221名 36.0%	291名 36.1%	35名 31.0%	81名 27.8%	116名 28.7%	554名 33.8%
狭心症	18 21.4%	38 11.0%	56 13.0%	15 7.8%	69 11.2%	84 10.4%	9 8.0%	18 6.2%	27 6.7%	167 10.2%
気管支喘息	5 6.0%	19 5.5%	24 5.6%	4 2.1%	29 4.7%	33 4.1%	3 2.7%	11 3.8%	14 3.5%	71 4.3%
パーキンソン病	1 1.2%	3 0.9%	4 0.9%	8 4.2%	18 2.9%	26 3.2%	5 4.4%	12 4.1%	17 4.2%	47 2.9%
関節リウマチ	2 2.4%	6 1.7%	8 1.9%	4 2.1%	21 3.4%	25 3.1%	2 1.8%	12 4.1%	14 3.5%	47 2.9%
肺気腫	4 4.8%	4 1.2%	8 1.9%	8 4.2%	6 1.0%	14 1.7%	8 7.1%	1 0.3%	9 2.2%	31 1.9%
不整脈	7 8.3%	28 8.1%	35 8.1%	10 5.2%	35 5.7%	45 5.6%	8 7.1%	15 5.2%	23 5.7%	103 6.3%
痛風	1 1.2%	4 1.2%	5 1.2%	4 2.1%	6 1.0%	10 1.2%	2 1.8%	3 1.0%	5 1.2%	20 1.2%
その他	38 45.2%	177 51.0%	215 49.9%	92 47.9%	314 51.1%	406 50.4%	73 64.6%	141 48.5%	214 53.0%	835 50.9%
計	101 120.2%	401 115.6%	502 116.5%	215 112.0%	719 117.1%	934 115.9%	145 128.3%	294 101.0%	439 108.7%	1875 114.3%

4) 通院手段

通院手段の状況を表 42 に示す。

「家族の車」は要支援 431 名中 94 名 (21.8%)、「タクシー」は 69 名 (16.0%)、「一人で歩いて」は 49 名 (6.1%)、「その他」は 55 名 (12.8%) であった。

これに対して要介護度 1 の 806 名中「家族の車」309 名 (38.3%)、「タクシー」は 137 名 (17.0%)、「一人で歩いて」は 73 名 (16.9%)、「その他」は 84 名 (10.4%) であった。

また、要介護度 2 の 404 名中では、「家族の車」208 名 (51.5%)、「タクシー」は 52 名 (12.9%)、「一人で歩いて」は 7 名 (1.7%)、「その他」は 36 名 (8.9%) であった。

最も多い「家族の車」では要支援、要介護 1、要介護 2 の順で 21.8%、38.3%、51.5% と明らかに要介護度が高くなるほどその比率が高くなっている。

逆に「一人で歩いて」は上記の順で 16.9%、

6.1%、1.7%と、要介護度と逆比例して少なくなっている。

それらと比べると「タクシー」は大きな違いはない。

2. 入院

入院の状況を表 43 に示す。

「1年以内にあり」を要支援、要介護 1、要介護 2 の間で比較すると 18.1%、22.1%、26.2%であり、要介護度と、1年以内の入院とが多少の関連性があることがわかる。また逆に「最近5年間はない」は、この順で 39.7%、32.3%、30.5%であり僅かながら上記と逆方向の関連性が認められる。しかしその他「5年以内にあり」、「これまで一度もない」には差は認められなかった。

表 41 通院頻度－要介護度・男女別－

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
週 1 回	10 名 11.9%	56 名 16.1%	66 名 15.3%	29 名 15.1%	94 名 15.3%	123 名 15.3%	11 名 9.7%	32 名 11.0%	43 名 10.7%	232 名 14.1%
2週に1回	35 41.7%	106 30.5%	141 32.7%	63 32.8%	201 32.7%	264 32.8%	32 28.3%	60 20.6%	92 22.8%	497 30.3%
月 1 回	25 29.8%	129 37.2%	154 35.7%	66 34.4%	207 33.7%	273 33.9%	54 47.8%	120 41.2%	174 43.1%	601 36.6%
ほとんどなし	2 2.4%	9 2.6%	11 2.6%	6 3.1%	18 2.9%	24 3.0%	4 3.5%	19 6.5%	23 5.7%	58 3.5%
週2回以上	3 3.6%	2 0.6%	5 1.2%	3 1.6%	11 1.8%	14 1.7%	2 1.8%	4 1.4%	6 1.5%	25 1.5%
返答なし	9 10.7%	45 13.0%	54 12.5%	25 13.0%	83 13.5%	108 13.4%	10 8.8%	56 19.2%	66 16.3%	228 13.9%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 42 通院手段—要介護度・男女別—

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
家族の車	11名 13.1%	83名 23.9%	94名 21.8%	72名 37.5%	237名 38.6%	309名 38.3%	45名 39.8%	163名 56.0%	208名 51.5%	611名 37.2%
タクシー	18 21.4%	51 14.7%	69 16.0%	30 15.6%	107 17.4%	137 17.0%	25 22.1%	27 9.3%	52 12.9%	258 15.7%
一人で歩いて	11 13.1%	62 17.9%	73 16.9%	12 6.3%	37 6.0%	49 6.1%	2 1.8%	5 1.7%	7 1.7%	129 7.9%
その他	15 17.9%	40 11.5%	55 12.8%	34 17.7%	50 8.1%	84 10.4%	18 15.9%	18 6.2%	36 8.9%	175 10.7%
複数回答	13 15.5%	50 14.4%	63 14.6%	9 4.7%	66 10.7%	75 9.3%	11 9.7%	14 4.8%	25 6.2%	163 9.9%
返答なし	16 19.0%	61 17.6%	77 17.9%	35 18.2%	117 19.1%	152 18.9%	12 10.6%	64 22.0%	76 18.8%	305 18.6%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 43 入院

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1年以内こあり	14名 16.7%	64名 18.4%	78名 18.1%	51名 26.6%	127名 20.7%	178名 22.1%	36名 31.9%	70名 24.1%	106名 26.2%	362名 22.1%
5年以内こあり	34 40.5%	95 27.4%	129 29.9%	74 38.5%	190 30.9%	264 32.8%	42 37.2%	87 29.9%	129 31.9%	522 31.8%
最近5年間こない	28 33.3%	143 41.2%	171 39.7%	51 26.6%	209 34.0%	260 32.3%	31 27.4%	92 31.6%	123 30.5%	554 33.8%
これまで一度もこない	7 8.3%	35 10.1%	42 9.8%	11 5.7%	60 9.8%	71 8.8%	4 3.5%	27 9.3%	31 7.7%	144 8.8%
返答なし	1 1.2%	10 2.9%	11 2.6%	5 2.6%	28 4.6%	33 4.1%	0 0.0%	15 5.2%	15 3.7%	59 3.6%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

VI. 「環境因子」の状況

ICFでは「環境因子」を通常考えられ易いような物的な環境だけでなく、人的環境・制度的環境（サービス・政策を含む）を含めて広くとらえるのが特徴である。その趣旨に立って本研究でも広い範囲の環境因子を対象とした

1. サービス；特に介護保険に対する「リハ

ビリテーション前置」について

1) 要介護認定前のリハビリテーション

介護保険は「要介護状態」、すなわち「活動」の自立度が低下して介護を必要とする状態を対象とするものである。しかし「活動」の自立度が低下しても、その改善・向上の可能性があれば、改善・向上の働きかけを優先すべきであり、その点で「介護におけるリハビリ

テーション前置」が望ましいと考えられている。その点についての現状を調査した。

(1) 要介護認定前のリハビリテーションの状況

要介護認定前にリハビリテーション（e5800）を受けたことがあるかをみると表44に示すように。

「いいえ」（なし）は総計の1641名中1103名（67.2%）、「はい」（あり）は486名（29.6%）であり、要介護度による差はほとんどなかった。

要するに要介護認定前のリハビリテーションは約3割弱が受けた事があるだけで約7割

はリハビリテーションを全く受けていないのが現状であることが明らかとなった。

(2) リハビリテーションを受けた場所

リハビリテーションを受けた場所について表45に示す。

「返答なし」が7割以上あるが、これはほとんどがリハビリテーションを受けていないものと考えられる。総計でみると「入院」は1641名中215名（13.1%）、「外来」は160名（9.8%）、「両方」は59名（3.6%）であった。

このうち入院については要介護度とある程度の関連が認められた。

表44 要介護認定前にリハビリテーションを受けたことがあるか？

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
いいえ	60名 71.4%	245名 70.6%	305名 70.8%	127名 66.1%	407名 66.3%	534名 66.3%	71名 62.8%	193名 66.3%	264名 65.3%	1103名 67.2%
はい	22 26.2%	91 26.2%	113 26.2%	56 29.2%	193 31.4%	249 30.9%	41 36.3%	83 28.5%	124 30.7%	486 29.6%
返答なし	2 2.4%	11 3.2%	13 3.0%	9 4.7%	14 2.3%	23 2.9%	1 0.9%	15 5.2%	16 4.0%	52 3.2%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表45 リハビリテーションを受けた場所：要介護認定前

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
入院	7名 8.3%	42名 12.1%	49名 11.4%	19名 9.9%	85名 13.8%	104名 12.9%	24名 21.2%	38名 13.1%	62名 15.3%	215名 13.1%
外来	13 15.5%	30 8.6%	43 10.0%	22 11.5%	63 10.3%	85 10.5%	7 6.2%	25 8.6%	32 7.9%	160 9.8%
両方	1 1.2%	8 2.3%	9 2.1%	6 3.1%	26 4.2%	32 4.0%	6 5.3%	12 4.1%	18 4.5%	59 3.6%
返答なし	63 75.0%	267 76.9%	330 76.6%	145 75.5%	440 71.7%	585 72.6%	76 67.3%	216 74.2%	292 72.3%	1207 73.6%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

(3) リハビリテーションの内容

リハビリテーションの内容について表 46 に示す。

リハビリテーションを受けていないものが多いことを反映して「返答なし」が約4分の3に及んでいる。その他のものでみると総計で「歩く訓練」は1641名中237名(14.4%)、「身の回り行為の訓練」は19名(1.2%)、「家で自分や家族で行う訓練の指導」は5名(0.3%)、「家での生活行為の行い方の指導」は5名(0.3%)、「その他」は43名(2.6%)であった。要介護度による差は僅かであった。

この結果は対象者の受けたリハビリテーションが「歩く訓練」が主であって、身の回り行為の訓練は僅かで、「家で自分や家族で行なう訓練の指導」や「家での生活行為の行ない方の指導」はほとんどないことを示してお

り、最初に述べたような「在宅自立支援」をめざして病院・施設においても病棟・居室棟の現実の生活で行なうのが望ましいという観点のものはほとんど行なわれていなかった。このようにリハビリテーションが量的だけでなく質的にもきわめて不十分であることが判明した。

2) 要介護認定後のリハビリテーション

「リハビリテーション前置」が理想であるが、それが受けられなかった場合に、せめて要介護認定後に介護保険サービスとしてリハビリテーション（訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、等）を受けることが望ましい。そのため認定後のリハビリテーションについて調査した。

表 46 リハビリテーションの内容：要介護認定前

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
歩く訓練	8名 9.5%	37名 10.7%	45名 10.4%	28名 14.6%	98名 16.0%	126名 15.6%	22名 19.5%	44名 15.1%	66名 16.3%	237名 14.4%
身の回り行為の訓練	1 1.2%	2 0.6%	3 0.7%	1 0.5%	9 1.5%	10 1.2%	2 1.8%	4 1.4%	6 1.5%	19 1.2%
家で自分や家族で行う訓練の指導	0 0.0%	1 0.3%	1 0.2%	0 0.0%	3 0.5%	3 0.4%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.2%	5 0.3%
家での生活行為の行い方の指導	1 1.2%	3 0.9%	4 0.9%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.3%
その他	5 6.0%	9 2.6%	14 3.2%	3 1.6%	18 2.9%	21 2.6%	2 1.8%	6 2.1%	8 2.0%	43 2.6%
複数回答	1 1.2%	22 6.3%	23 5.3%	13 6.8%	36 5.9%	49 6.1%	10 8.8%	15 5.2%	25 6.2%	97 5.9%
返答なし	68 81.0%	273 78.7%	341 79.1%	146 76.0%	450 73.3%	596 73.9%	76 67.3%	222 76.3%	298 73.8%	1235 75.3%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

(1) 要介護認定後のリハビリテーションの状況

要介護認定後にリハビリテーション（e5800）を受けたことがあるかをみると表47に示すように、「いいえ」（なし）は1641名中1158名（70.6%）、「はい」（あり）は399名（24.3%）であり、要介護認定前と同様にリハビリテーションを受けた者は4分の1以下にとどまった。

要介護度による差は乏しく、しいて言えば

「はい」は要支援17.9%、要介護1 26.1%、要介護2 27.7%で要支援より要介護1、2のほうが多少多く受ける傾向があった。

(2) リハビリテーションを受けた場所

リハビリテーションを受けた場所について表48に示す。

総計で「入院」は1641名中81名（4.9%）、「外来」は202名（12.3%）、「両方」は33名（2.0%）であり、全体的に受けたものは非常に少なかった。

表47 要介護認定後にリハビリテーションを受けたか

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
いいえ	63名 75.0%	271名 78.1%	334名 77.5%	131名 68.2%	427名 69.5%	558名 69.2%	70名 61.9%	196名 67.4%	266名 65.8%	1158名 70.6%
はい	18 21.4%	59 17.0%	77 17.9%	54 28.1%	156 25.4%	210 26.1%	37 32.7%	75 25.8%	112 27.7%	399 24.3%
返答なし	3 3.6%	17 4.9%	20 4.6%	7 3.6%	31 5.0%	38 4.7%	6 5.3%	20 6.9%	26 6.4%	84 5.1%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表48 リハビリテーションを受けた場所：要介護認定後

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
入院	0名 0.0%	9名 2.6%	9名 2.1%	9名 4.7%	30名 4.9%	39名 4.8%	9名 8.0%	24名 8.2%	33名 8.2%	81名 4.9%
外来	12 14.3%	36 10.4%	48 11.1%	28 14.6%	84 13.7%	112 13.9%	15 13.3%	27 9.3%	42 10.4%	202 12.3%
両方	2 2.4%	3 0.9%	5 1.2%	5 2.6%	11 1.8%	16 2.0%	2 1.8%	10 3.4%	12 3.0%	33 2.0%
返答なし	70 83.3%	299 86.2%	369 85.6%	150 78.1%	489 79.6%	639 79.3%	87 77.0%	230 79.0%	317 78.5%	1325 80.7%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

(3) リハビリテーションの内容

リハビリテーションの内容について表 49 に示す。

総計で見ると「歩く訓練」は 1641 名中 159 名 (9.7%)、「身の回り行為の訓練」は 17 名 (1.0%)、「家で自分や家族で行う訓練の指導」は 5 名 (0.3%)、「家での生活行為の行い方の指導」は 7 名 (0.4%)、「その他」は 46 名 (2.8%) であった。

「歩く訓練」が主でその他のものが少ないことは表 46 (要介護認定前のリハビリテーション) と同様であった。

要介護度との関連では、歩く訓練は要支援 4.9%、要介護 1 10.2%、要介護 2 13.9% と要介護度と並行して増える傾向があった。

3) 身体障害者手帳の所持

身体障害者手帳 (e5701) の所持について表 50 に示す。

総計で「持っていない」は 1641 名中 1339 名 (81.6%)、「持っている」は 266 名 (16.2%) であった。要介護度と「持っている」とにある程度の関連性が認められた。

表 49 リハビリテーションの内容：要介護認定後

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
歩く訓練	4名 4.8%	17名 4.9%	21名 4.9%	24名 12.5%	58名 9.4%	82名 10.2%	19名 16.8%	37名 12.7%	56名 13.9%	159名 9.7%
身の回り行為の訓練	1 1.2%	5 1.4%	6 1.4%	2 1.0%	6 1.0%	8 1.0%	1 0.9%	2 0.7%	3 0.7%	17 1.0%
家で自分や家族で行う訓練の指導	0 0.0%	2 0.6%	2 0.5%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.1%	1 0.9%	1 0.3%	2 0.5%	5 0.3%
家での生活行為の行い方の指導	1 1.2%	2 0.6%	3 0.7%	0 0.0%	3 0.5%	3 0.4%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.2%	7 0.4%
その他	5 6.0%	10 2.9%	15 3.5%	4 2.1%	20 3.3%	24 3.0%	1 0.9%	6 2.1%	7 1.7%	46 2.8%
複数回答	1 1.2%	10 2.9%	11 2.6%	13 6.8%	30 4.9%	43 5.3%	7 6.2%	18 6.2%	25 6.2%	79 4.8%
返答なし	72 85.7%	301 86.7%	373 86.5%	149 77.6%	496 80.8%	645 80.0%	83 73.5%	227 78.0%	310 76.7%	1328 80.9%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 50 身体障害者手帳の所持

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
持っていない	73名 86.9%	304名 87.6%	377名 87.5%	144名 75.0%	517名 84.2%	661名 82.0%	74名 65.5%	227名 78.0%	301名 74.5%	1339名 81.6%
持っている	11 13.1%	39 11.2%	50 11.6%	42 21.9%	81 13.2%	123 15.3%	34 30.1%	59 20.3%	93 23.0%	266 16.2%
返答なし	0 0.0%	4 1.2%	4 0.9%	6 3.1%	16 2.6%	22 2.7%	5 4.4%	5 1.7%	10 2.5%	36 2.2%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

2. 人的環境

1) 同居家族

同居家族（e310）の状況について表51に示す。

総計で「単身」は1641名中457名(27.8%)、「あり」は1137名(69.3%)であった。

要介護度が高いほど単身者の比率が減り、同居家族「あり」の率が高まることが著明にみられた。

2) 同居家族変化（5年以内）の有無

同居家族変化（5年以内）の状況を表52に示す。

総計で「なし」は1641名中1065名(64.9%)、「あり」は342名(20.8%)であった。

要介護度が高まるほど「なし」が増加する傾向がみられた。

3) 同居家族変化（5年以内）の内容

同居家族変化（5年以内）の内容を表53に示す。

総計で「配偶者死亡」は1641名中141名(8.6%)、「息子夫婦と同居」は55名(3.4%)、「その他」は99名(6.0%)で、計295名(18.0%)に変動がみられた。

要介護度との関係では配偶者死亡が要介護度の進むほどやや少なくなり、「息子夫婦と同居」が逆にやや増える傾向がみられたが顕著ではなかった。

表51 同居家族

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
単身	22名 26.2%	149名 42.9%	171名 39.7%	29名 15.1%	187名 30.5%	216名 26.8%	9名 8.0%	61名 21.0%	70名 17.3%	457名 27.8%
あり	57 67.9%	180 51.9%	237 55.0%	159 82.8%	415 67.6%	574 71.2%	102 90.3%	224 77.0%	326 80.7%	1137 69.3%
返答なし	5 6.0%	18 5.2%	23 5.3%	4 2.1%	12 2.0%	16 2.0%	2 1.8%	6 2.1%	8 2.0%	47 2.9%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表52 同居家族変化（5年以内）の有無

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
なし	53名 63.1%	203名 58.5%	256名 59.4%	125名 65.1%	394名 64.4%	519名 64.4%	76名 67.3%	214名 73.5%	290名 71.8%	1065名 64.9%
あり	20 23.8%	71 20.5%	91 21.1%	41 21.4%	131 64.2%	172 21.3%	27 23.9%	52 17.9%	79 19.6%	342 20.8%
返答なし	11 13.1%	73 21.0%	84 19.5%	26 13.5%	89 21.3%	115 14.3%	10 8.8%	25 8.6%	35 8.7%	234 14.3%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

4) 配偶者の死亡に伴う「外出回数」の変化
 配偶者 (e310) の死亡 (5年以内) に伴う
 「外出回数」の変化の状況を表 54 に示す。

表 54 における配偶者死亡は 149 名であり、
 先の表 53 の 141 名との間で 8 名の差があるが、
 これは表 53 の複数回答の中に含まれていた
 ものである。

総計で「変化なし」は 149 名中 61 名 (40.9%)、

「増加」は 12 名 (8.1%)、「少し減少」は 36 名
 (24.2%)、「とても減少」は 34 名 (22.8%) で
 あった。

外出回数の増加は要介護度に反比例し、逆
 に減少はそれと比例する傾向がみられた。

表 53 同居家族変化の内容 (5年以内)

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
配偶者死亡	11名 13.1%	38名 11.0%	49名 11.4%	18名 9.4%	46名 7.5%	64名 7.9%	8名 7.1%	20名 6.9%	28名 6.9%	141名 8.6%
息子夫婦と同居	3 3.6%	8 2.3%	11 2.6%	5 2.6%	23 3.7%	28 3.5%	5 4.4%	11 3.8%	16 4.0%	55 3.4%
その他	5 6.0%	15 4.3%	20 4.6%	11 5.7%	43 7.0%	54 6.7%	11 9.7%	14 4.8%	25 6.2%	99 6.0%
複数回答	1 1.2%	4 1.2%	5 1.2%	5 2.6%	12 2.0%	17 2.1%	2 1.8%	2 0.7%	4 1.0%	26 1.6%
返答なし	64 76.2%	282 81.3%	346 80.3%	153 79.7%	490 79.8%	643 79.8%	87 77.0%	244 83.8%	331 81.9%	1320 80.4%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%

表 54 配偶者の死亡による外出回数の変化 (5年以内)

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
変化なし	6名 50.0%	9名 33.3%	15名 38.5%	6名 22.2%	29名 54.7%	35名 43.8%	3名 23.1%	8名 47.1%	11名 36.7%	61名 40.9%
増加	3 25.0%	3 11.1%	6 15.4%	3 11.1%	2 3.8%	5 6.3%	0 0.0%	1 5.9%	1 3.3%	12 8.1%
少し減少	2 16.7%	7 25.9%	9 23.1%	8 29.6%	13 24.5%	21 26.3%	2 15.4%	4 23.5%	6 20.0%	36 24.2%
とても減少	0 0.0%	8 29.6%	8 20.5%	9 33.3%	7 13.2%	16 20.0%	7 53.8%	3 17.6%	10 33.3%	34 22.8%
返答なし	1 8.3%	0 0.0%	1 2.6%	1 3.7%	2 3.8%	3 3.8%	1 7.7%	1 5.9%	2 6.7%	6 4.0%
計	12 100%	27 100%	39 100%	27 100%	53 100%	80 100%	13 100%	17 100%	30 100%	149 100%

5) 配偶者の死亡に伴う「料理」を行う回数
の変化

配偶者の死亡（5年以内）に伴う「料理」
を行う回数の変化の状況を表55に示す。

総計で「変化なし」は149名中72名(48.3%)、
「増加」は16名(10.7%)、「少し減少」は24
名(16.1%)、「とても減少」は31名(20.8%)
であった。要介護度との関係は著明ではな
かった。男女差についても一定の傾向は認め
難かった。

6) 配偶者の死亡に伴う「その他家事」を行
う回数の変化

配偶者の死亡（5年以内）に伴う「その他
家事」を行う回数の変化を表56に示す。

総計で「変化なし」は149名中75名(50.3%)、
「増加」は16名(10.7%)、「少し減少」は24
名(16.1%)、「とても減少」は29名(19.5%)
であった。要介護度との関係は著明ではな
かった

表 55 配偶者の死亡による料理の回数の変化

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
変化なし	4名 33.3%	12名 4.4%	16名 41.0%	10名 37.0%	33名 62.3%	43名 53.8%	6名 46.2%	7名 41.2%	13名 43.3%	72名 48.3%
増加	6 50.0%	1 3.7%	7 17.9%	3 11.1%	4 7.5%	7 8.8%	0 0.0%	2 11.8%	2 6.7%	16 10.7%
少し減少	0 0.0%	7 25.9%	7 17.9%	6 22.2%	8 15.1%	14 17.5%	0 0.0%	3 17.6%	3 10.0%	24 16.1%
とても減少	2 16.7%	6 22.2%	8 20.5%	8 29.6%	6 11.3%	14 17.5%	5 38.5%	4 23.5%	9 30.0%	31 20.8%
返答なし	0 0.0%	1 3.7%	1 2.6%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.5%	2 15.4%	1 5.9%	3 10.0%	6 4.0%
計	12 100%	27 100%	39 100%	27 100%	53 100%	80 100%	13 100%	17 100%	30 100%	149 100%

表 56 配偶者の死亡に伴うその他の家事の回数の変化

	要支援			要介護1			要介護2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
変化なし	4名 33.3%	14名 51.9%	18名 46.2%	10名 37.0%	35名 66.0%	45名 56.3%	5名 38.5%	7名 41.2%	12名 40.0%	75名 50.3%
増加	5 41.7%	3 11.1%	8 20.5%	2 7.4%	4 7.5%	6 7.5%	0 0.0%	2 11.8%	2 6.7%	16 10.7%
少し減少	0 0.0%	4 14.8%	4 10.3%	5 18.5%	10 18.9%	15 18.8%	2 15.4%	3 17.6%	5 16.7%	24 16.1%
とても減少	2 16.7%	6 22.2%	8 20.5%	10 37.0%	3 5.7%	13 16.3%	4 30.8%	4 23.5%	8 26.7%	29 19.5%
返答なし	1 8.3%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.3%	2 15.4%	1 5.9%	3 10.0%	5 3.4%
計	12 100%	27 100%	39 100%	27 100%	53 100%	80 100%	13 100%	17 100%	30 100%	149 100%

7) 配偶者の死亡に伴う「身の回り行為」を行う回数の変化

配偶者の死亡に伴う身の回り行為を行う回数の変化の状況を表 57 に示す。

総計では「変化なし」は 149 名中 71 名 (47.7%)、「増加」は 17 名 (11.4%)、「少し減少」は 34 名 (22.8%)、「とても減少」は 23 名 (15.4%) であった。要介護度による差は著

明ではなかった。

8) 最近 5 年間の引越し

最近 5 年間の引越しの状況を表 58 に示す。

総計では「なし」は 1641 名中 1371 名 (83.5%)、「あり」は 131 名 (8.0%) であった。要介護度に関連しての差はみられなかった。

表 57 配偶者の死亡による身の回り行為を行う回数の変化

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
変化なし	6名 50.0%	10名 37.0%	16名 41.0%	10名 37.0%	34名 64.2%	44名 55.0%	3名 23.1%	8名 47.1%	11名 36.7%	71名 47.7%
増加	3 25.0%	3 11.1%	6 15.4%	4 14.8%	4 7.5%	8 10.0%	1 7.7%	2 11.8%	3 10.0%	17 11.4%
少し減少	0 0.0%	9 33.3%	9 23.1%	8 29.6%	10 18.9%	18 22.5%	4 30.8%	3 17.6%	7 23.3%	34 22.8%
とても減少	2 16.7%	5 18.5%	7 17.9%	5 18.5%	4 7.5%	9 11.3%	4 30.8%	3 17.6%	7 23.3%	23 15.4%
返答なし	1 8.3%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.3%	1 7.7%	1 5.9%	2 6.7%	4 2.7%
計	12 100%	27 100%	39 100%	27 100%	53 100%	80 100%	13 100%	17 100%	30 100%	149 100%

表 58 最近 5 年間の引越しの有無

	要支援			要介護 1			要介護 2			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
なし	72名 85.7%	287名 82.7%	359名 83.3%	164名 85.4%	504名 82.1%	668名 82.9%	95名 84.1%	249名 85.6%	344名 85.1%	1371名 83.5%
あり	7 8.3%	25 7.2%	32 7.4%	15 7.8%	53 8.6%	68 8.4%	9 8.0%	22 7.6%	31 7.7%	131 8.0%
返答なし	5 6.0%	35 10.1%	40 9.3%	13 6.8%	57 9.3%	70 8.7%	9 8.0%	20 6.9%	29 7.2%	139 8.5%
計	84 100%	347 100%	431 100%	192 100%	614 100%	806 100%	113 100%	291 100%	404 100%	1641 100%